



国指定重要文化財 札幌市時計台

時計台の鐘

第 85 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会 長 谷 征 輝

札幌市中央区北1条西2丁目

時計台内

TEL 011-251-5944

時計台照らす幻想的な光「虹と雪のバラード」バックに

北海道新聞 令和2年10月20日掲載



新型コロナウイルスと 時計台

札幌市市民文化局文化財課長

田 中 敦 士

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、時計台においても、昨春は2カ月半ほどの期間、休館いたしました。その後、6月1日に開館してからは、指定管理者において、手指消毒液の設置や消毒作業を行いながら運営を継続しております。

この間、観覧者数は、8月の無料期間に一瞬、持ち直しの兆しを見せましたが、9月には前年比4割、10月は同5割、11月は同4割、12月は1割となっております。NPO法人さっぽろ時計台の会主催の「おもてなしフェア」によるテコ入れがなかったならば、10・11月は、より低調な数字になっていたことでしょう。フェア関係者の皆様に、改めて感謝申し上げる次第です。

さて、一体、文化財にとって最大の脅威とは何でありましょうか。ウィルスは、白蟻のように木材を食べたりはしません。ならば地震や台風でしょうか。確かに、天災は怖い。しかし、実のところ最大の脅威は「人」なのではないでしょうか。法隆寺金堂壁画は不審火により焼損、鹿苑寺金閣は放火で失われました。太平洋戦争末期、米軍機の焼夷弾により多くの城郭が炎上。沖縄の首里城は艦砲射撃で破壊されました。人災とは、かくも恐ろしいものであります。

第39回 (令和2年)

時計台まつり記念行事

時計台創建142周年記念式典・
記念演奏会

10月16日(水)の時計台創建記念日に来賓の出席いただき、コロナ禍のなか、「新北海道スタイル」の取り組みを行なったうえ、式典を実施しました。当日は「時計台おもてなしフェア」の初日にあたり、18時の時計台の鐘を合図に開会、音楽とライトのなか、谷会長より、「新しい未来の絆を開く響きである時計台の愛護活動に一層精進していきたい」と挨拶の後、来賓を代表いたしました。札幌市市民文化局文化部長有塚広之様より、お祝いと今後の活動に対し激励の言葉をいただきました。

なお、例年実施しておりました児童絵画展表彰式は、絵画展取りやめのため中止となりました。

式典に引き続き演奏会を実施しま



した。「琴・ドレミニ琴アンサンブル・セシーリア」の松浦幾美代表以下5名でジャズ・ポップス・演歌・童謡他、幅広いジャンルの曲を演奏していただき、琴による「時計台の鐘」は味わい深いものでした。



札幌市時計台来館促進観光事業

―感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア

令和2年10月16日から11月30日の45日間に亘り、札幌市観光需要回復支援事業の一環の、札幌市時計台来館促進観光事業「感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア」をSNSフォトキャンペーン・時計台ライブ2020×JAZZ・時計台ルミナリエの3コンテンツとし実施しました。

SNSフォトキャンペーンでは

来館者のうち1156名の参加をいただき、抽選で時計台オリジナルのグッズをプレゼントしました。

ライブは公益財団法人ライブ芸術文化財団、サッポロシティジャズの協力を得て、10日間、一日2ステージ、会場来場者約500名、YouTubeによる視聴回数は約2200でした。

札幌時計台ルミナリエは18日間に亘りムービングライトショーを開催、「雪と虹のバラード」また後半は山下達郎の「クリスマス・イヴ」を流しました。

コロナ禍の影響のなか、厳しい状況ではあったが、イベント自体は広く認知されさっぽろ時計台の新たな魅力を発信できたと考えます。

時計台ライオンズクラブ様・会員理事武内紘三様から多額の賛助金をいただき、また株式会社メディア・マジック、株式会社アングル、ブロス株式会社より協賛を賜りました。



SNS 投稿によるお客さまの声（抜粋）

○時計台期間限定ライトアップ。30分おきにカラフルなムービングもありミュージカルのような演出で少し照れくさそうな時計台。札幌の開拓時代を象徴するととても素敵な建物。

○「ガッカリ名所」と名高い札幌市の時計台がついに本気を出したようです！

○札幌観光といえばの札幌時計台。よくガッカリ観光地と呼ばれたりしますが、中の展示は充実して博物館としては実は結構好きなスポット。背後のビルと明治期の建築の時計台とのコントラストも見どころです。

○インスタ投稿キャンペーンに参加、末っ子がトートバック当てました。ボランティアの方が時計台の歴史をとてわかりやすく説明してくれて、観光名所の時計台から、歴史を感じる身近な時計台になりました。ありがとうございます。

○渋くてよいわぁ、クラーク博士と自撮りもできるし時計台の歴史を学ぶ展示もあり、中に入れるの知らなかったな。

○30分毎に音楽とともにライトアップショーもあって見入ってしまった！地下鉄メロディと言い、「虹と雪のバラード」がとてもお馴染みになったよね。

○時計台でライブの帰り道。虹と雪のバラードが流れていたから、虹色のライトアップ?!

○割と大音量で街中に響き渡る音楽とともにライトアップ。何年も札幌に住んでいながら初めて時計台の展望台に行ってみた。時計の振り子の仕組みもわかるようになっておもしろかった。



フォトキャンペーン



ライブ



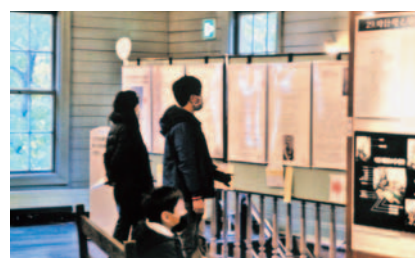
ルミナリエ

黒田清隆開拓使長官

生誕180周年記念特別展開催

令和2年10月2日（金）から11月6日（金）までの36日間、時計台（旧札幌農学校演武場）と縁の深い、屯田兵制を創設し開拓の礎を築いた道開拓使長官黒田清隆の半生を時計台においてパネルを中心とした展示会を札幌市友会と共催実施しました。

コロナ禍のなか、期間中來場者14174人の約3割、4200人程度の方が鑑賞され、時計台の愛護・伝承普及活動に多くの実績になったと思われます。



北海道信用金庫ひまわり財団の

助成事業に選定される

令和2年12月25日、昨年度に引き続き、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団の令和2年度地域の社会福祉法人並びに社会福祉に係る団体・個人に対する助成金の交付団体に選定され、助成金をいただきました。

北海道信用金庫

東札幌支店長照井

茂雄様が来館され

谷会長が目録を受け取りました。



令和2年度の主な活動

- 4月9日 第1回理事会
14日～5月31日 時計台休館
- 5月14日 通常総会
- 6月9日 持続化給付金申請（経済産業省）
29日 第2回理事会
- 7月2日 児童用小冊子「さっぽろ時計台
なぞ！ふしぎ！探検」の市内小
学校宛送付（市友会との共催事
業）
- 7日 経営持続化臨時特別支援金申請
（北海道・札幌市）
- 9月11日 雇用調整助成金支給申請（厚生
労働省・北海道労働局）
- 16日 札幌市観光需要回復支援事業補
助対象事業として「札幌市時計
台来館促進観光事業」が決定さ
れる
- 8月7日 時計台まつり実行委員会（書面
による）
- 8月27日 家賃支援給付金申請（経済産業
省）
- 9月17日 北1条通オフィス町内会セーフ
ティ＆クリーン大作戦参加
- 10月2日～11月6日
黒田清隆生誕180年記念パネル展
- 10月12日 第3回理事会
16日 時計台創建142周年記念式典、
記念演奏会
時計台ライオンズクラブ・武内
絃三会員理事より協賛金贈呈さ
れる。
- 16日～11月30日
時計台来館促進観光事業「感動・
再発見！札幌時計台おもてなし
フェア」
- 23日 「GoTo トラベル事業」地域共
通クーポン取扱店舗登録申請
- 12月1日～3月31日 売店休業
- 25日 北海道信用金庫ひまわり財団助
成事業の助成先に選定され助成
金を贈呈される（於時計台）
- 3月25日 会報「時計台の鐘」発行

白秋の「この道」 時計台寸描 ⑬

木原直彦

北原白秋が歌人の吉植庄亮と共に日本領だっ
た南樺太に遊んだのは、四十歳の折の大正十四
年（1925）であった。紀行記・詩・短歌・
童謡など数多くの取材を残しているが、南の
九州・福岡県柳川市生まれだったから、北への
感興はひとしおであったろう。樺太文学の貴重
品でもある。

白秋は帰りに北海道に立ち寄り、札幌にも足
跡をとどめた。アカシヤの季節である。大正十
一年に市制が施された、人口十万人ほどの札幌。
明治末期に啄木が「大いなる田舎町」と称した
雰囲気はまだまだ止めていた札幌。

白秋はこの時の旅で詩「この道」という最大
の贈りものを残してくれた。この作品は鈴木三
重吉が主宰した童謡雑誌「赤い鳥」（大正15）
に掲載され、昭和三年に山田耕筰が作曲し藤原
義江の声で世に出た。以来、広く歌いつがれて
いるのは周知のとおりである。

ところで、この詩は札幌を詠んだ作品であろ
うか。いろいろの説があるけれど、要約すると、
札幌のイメージと故郷の思い出を重ねた作品と

いうことになろう。

（一）この道はいつか来た道／ああ、そう
だよ／あかしやの花が咲いている （二）あ
の丘はいつか見た丘／ああ、そうだよ／ほ
ら白い時計台だよ （三）（四）略

札幌在住で白秋の弟子だった童謡作家の渡辺
ひろしは「この道とは北一条通りのことですよ
」と言う。その道筋にアカシヤが立ち並び、そし
て白い時計台が建っている。時計台年表を眺め
てみると、白秋が来た大正十四年に札幌市主催
の市民講座を時計台で開始しているし、図書館
としての役割を担っていた一環として巡回文庫
も実施している。

そう言えば、高階哲夫が作詞作曲した「時計
台の鐘」の初演（大阪）は、白秋が来札した前
年であった。札幌も時計台も、したがって市民
がこの名曲をもった幸運は得難い財産である。
加えて、白秋の「この道」を得たことにより、
わが街の時計台とアカシヤは札幌のみならず広
く日本人の愛唱歌として歌いつがれていること
を噛み締めた。

（当会名誉会長）

令和3年度 記念演奏会予定

- ・ 6月25日(金) ピアノ演奏 辻千絵
 - ・ 7月30日(金) 吹奏楽 アンサンブル
 - ・ 8月27日(金) 陸上自衛隊 北部方面隊
 - ・ 9月24日(金) 琴アンサンブル「セシリア」
 - ・ 10月15日(金) 札幌ハーモニカ合奏
歌、ピアノ、アコーディオンのアンサ
ンブル ひろくるエト久保
- 申し込み方法等は別途案内いたします。

事務局だより

児童絵画展にご協力いただいているリボンハウス
絵画教室の岩田美香代表から素敵なクリスマスカー
ドをいただきました。



児童の皆さんや市民の皆さまが楽しみにしており
ました児童絵画展、記念演奏会（4回）呈茶がコロ
ナ禍により中止のやむなきに至り残念でなりません。
また売店は4月14日～5月31日は時計台休館、12
月1日からは来館者激減のため休業としております。
一日も早くコロナ禍が終息するよう祈るばかりです。

◆さっぽろ時計台の会 HPアドレスです。

<http://sapporotoketai.sakura.ne.jp>